

お知らせ・ご取材のお願い

ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 大賞作品、上映開始！

直径 6m の地球ディスプレイを彩る、個性豊かな受賞作品を上映！

にっぽんか がくみらいかん

日本科学未来館(略称: 未来館、館長: 毛利衛)では、「目に見えないもの」をテーマに、シンボル展示「ジオ・コスモス」の新たな表現の可能性を追求する、「第3回 ジョ・コスモス コンテンツ コンテスト」を開催。映像部門、ライブコンテンツ部門、アイデア部門のそれぞれで大賞が決定しました。最終候補には、高校生からプロのアーティストまで、幅広い層の応募者による16作品がノミネート。斬新で、個性豊かな作品は、放送作家の鈴木おさむ氏をはじめ、第一線で活躍する研究者、アーティスト、館長の毛利衛で構成された審査員を唸らせました。

6月4日(日)より、映像部門、ライブコンテンツ部門の大賞作品を1年間、最終候補全10作品を1ヶ月間、上映いたします。ぜひ、貴媒体でのご取材、ご掲載を宜しくお願いいたします。

【大賞受賞作品】



<映像部門大賞>



「The Surface. -Appear and disappear-」

Daihei Shibata / evala / Boxx Inc. / Futurek Inc.

ジオ・コスモスの一枚膜を越えた向こう側にはいったい何が隠れているのか？球体の表面を覆った薄い「膜」を表現し、その奥にあるものを「想像させる」ことで、今まで見たことのないような3次元感を与えることを目的にした作品。

審査員コメント:

色や音などインパクトある演出ができています。見ていて引き込まれる作品。(長谷川踏太氏)／映像と音がきれいに同期しており、球面形状と映像の連続性も高いレベルで一致している映像作品です。(脇田玲氏)



<ライブコンテンツ部門大賞>

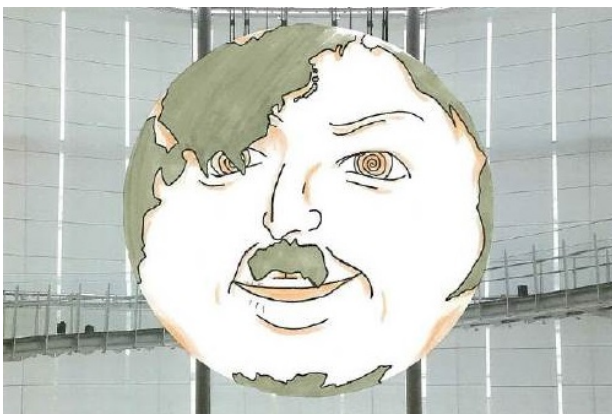


「inside」三上英樹 / 河上裕紀

知りたいという欲求、そして探すという行為を表現。オブジェクトに包まれたジオ・コスモスに、鑑賞者がかざした腕を動かすと、センサーによって掻き分けることができる。オブジェクトは少しずつ取り払われるが、完全に中を見る前にジオ・コスモスを覆う。

審査員コメント:

ジオ・コスモスの巨大な球面映像と身体心地よい操作空間を模索した作品です。(脇田玲氏)／情報やデータを可視化するのではなく、身体的、見たいという感覚、見えないところに何があるのだろうかという設定、作品化に着想の面白さがある。(辻川幸一郎氏)



<アイデア部門>

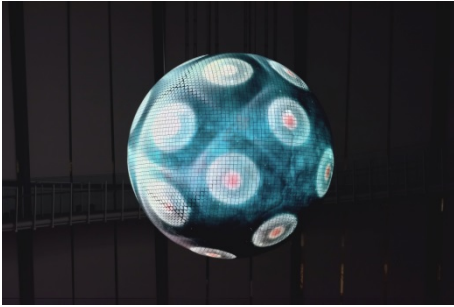


「地球おじさん」降旗俊介

地球を中年男性(46億歳)に見立て対話をすることで、温暖化、貧困、戦争、汚染など、解決すべき多くの問題を身近に考えてもう提案。環境破壊されたところは肌荒れしていたりする。

審査員コメント:

非常にインパクトがあって分かりやすく、ドキッとさせられる強さがありました。(鈴木おさむ氏)／地球と人との間の距離感を縮めることができる、素晴らしいアイデアだと思います。(高橋桂子氏)



<特別賞>

惜しくも大賞を逃した作品の中から1作品が選出されました。

「分裂し集結する世界」 笠原裕美子

細胞分裂から赤ん坊、そして粒子となり星空へ展開していくストーリー。同じ細胞から分裂してなる人類、同じ資源と場所を共有し共存する地球のすべての壮大な「目に見えないつながり」を改めて感じさせることを目指した作品。

審査員コメント: ジオ・コスモス特有の「有機ELならではの滑らかな階調」「1,000万画素以上の高解像度」がうまく活かされている作品。加えて、ジオ・コスモスが得意とする中間階調がとても丁寧に作り込まれていた点が良かった。(堀田豪氏) / ジオ・コスモス上に、マイクロコスモスからマクロコスモスへの「つながり」を表現することの面白味で、より強く「つながり」を意識することができた。また、細胞分裂、途中のシーン展開の各所に、球体を意識した表現力・技術力を感じた。(亀永吉文氏) / 細胞から赤ちゃんそして、光の世界へ。球面を活かした美しい映像で見せてくれました。夜に見られるとよりいいかも。(小久保英一郎氏)

■ファイナリスト (全16作品)

映像部門 (5作品)

「プレイボール」 井上裕治 / 鈴木有吾 / 藤田裕介

「The Surface. -Appear and disappear-」

Daihei Shibata / evala / Boxx Inc. / Futurek Inc.

「ウォッシング」 岡村浩志

「if you only knew」 中津川敦

「分裂し集結する世界」 笠原裕美子

ライブコンテンツ部門 (5作品)

「エモーションズ」 相馬一夫 / 林洋介

「ひとけい」 アラカワケンスケ / piana

「inside」 三上英樹 / 河上裕紀

「くつつく」 三上英樹 / 河上裕紀

「HBD / RIP」 西村保彦 / 瀬長孝久 / 曾根良介

アイデア部門 (6作品)

「Geo-Window～漆黒の闇に輝く地球～」 久田旭彦

「あなたの由来、何ですか？」 仲村怜夏

「歌われる気象」 山崎阿弥

「写真は人を幸せにする」 矢嶋博士

「テクノロジー演劇公演 The power of imagination」 上嶋萌

「地球おじさん」 降旗俊介

■作品上映スケジュール

6/4～6/30 :

<映像部門・ライブコンテンツ部門 入選全10作品上映>

10:15 / 11:20 / 12:20 / 13:20 / 15:25 / 16:30 (各10分間)

7/1～ :

<映像部門・ライブコンテンツ部門 大賞各1作品上映予定>

上映スケジュールの詳細:

<http://www.miraikan.jst.go.jp/activity/tsunagari.html>



授賞式を6月3日(土)に開催!



アイデア部門のファイナリストたち



映像・ライブコンテンツ部門の審査会風景

■「第3回ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト」開催概要

シンボル展示「ジオ・コスモス」の新たな可能性や表現方法を切り拓くことを目的に開催したコンテストです。第3回となる今回は、「目に見えないもの」をテーマに、「映像」「ライブコンテンツ」「アイデア」の3部門で作品を募集しました。応募された66作品のうち、16作品が最終審査にノミネート。大賞と特別賞、入選作が決定しました。

主催: 日本科学未来館

協賛: 三菱電機株式会社、株式会社ゴーズ、株式会社ジイケイテック

賛助: 株式会社電通

協力: 公益財団法人画像情報教育振興協会、株式会社リコー

特設サイト: <http://www.miraikanjst.go.jp/sp/gc3/>

■審査員

小久保英一郎(天文学者)、辻川幸一郎(映像作家)、長谷川踏太(Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)、脇田玲(アーティスト/慶應義塾大学 SFC 教授)、上田壮一(Think the Earth 理事/プロデューサー)、鈴木おさむ(放送作家)、高橋桂子(海洋研究開発機構地球情報基盤センター センター長)、土佐信道(明和電機 代表取締役社長)、毛利衛(日本科学未来館 館長)

※敬称略、順不同

■特別賞審査員

堀田豪(株式会社ゴーズ 代表取締役)

亀永吉文(株式会社ジイケイテック 代表取締役社長)

※敬称略、順不同

| 一般からのお問い合わせ先 | ご取材・画像提供に関するお問い合わせ先 |
|--|---|
| 日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp | 日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150 |